

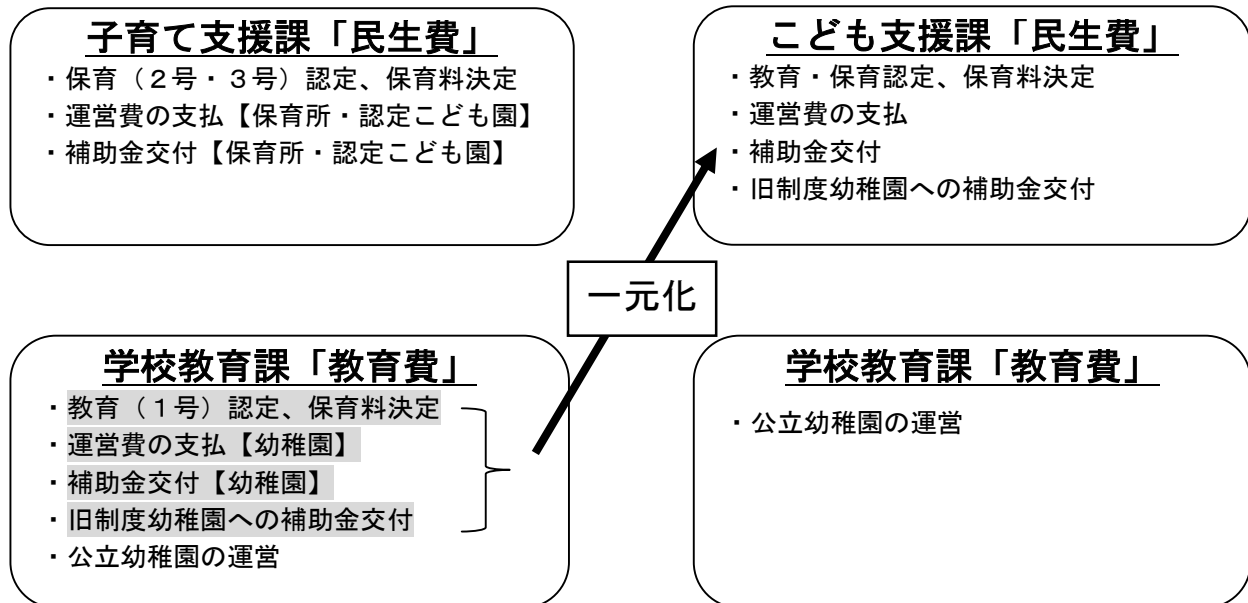
幼保事務一元化に伴う予算の組替えについて

1 幼保事務の一元化

教育委員会で行っていた幼稚園業務と福祉保健部で行っていた保育業務を一元化し、新設した「こども家庭部こども支援課」にて業務を行う。

平成29年3月まで

平成29年4月から



2 予算の組替え

「教育費」から「民生費」へ組替える予算

事務事業名	事業内容	予算額(千円)
施設型給付	新制度の幼稚園への運営費負担	274,958
幼稚園型一時預かり事業	新制度の幼稚園で通常の教育時間の前後や長期休業期間中に預かりを行う施設に補助	2,571
就園奨励事業費	旧制度幼稚園の保育料を減免する施設に補助	201,111
私立学校振興補助事業(教育振興)	旧制度幼稚園の経常的経費等への補助	20,014
私立学校振興補助事業(施設整備事業)	認定こども園へ移行を予定している幼稚園への施設整備補助	184,355
第3子以降園児保育料軽減事業	旧制度幼稚園へ通う第3子以降の園児の保育料を減免する施設に補助	9,374
国立幼稚園第3子以降園児保育料軽減事業	国立幼稚園へ通う第3子以降の園児の保育料を減免する施設に補助	652
合計		693,035

※各事業の歳入(国・県補助、市債)も組替える。

教育財産の取得を市長に申し出る件について

【統合校整備等推進室】

1 趣 旨

八尾地域統合中学校整備事業に係る学校用地の取得を市長に申し出るもの。

2 所在地

富山市八尾町井田地内 12筆 地権者7人

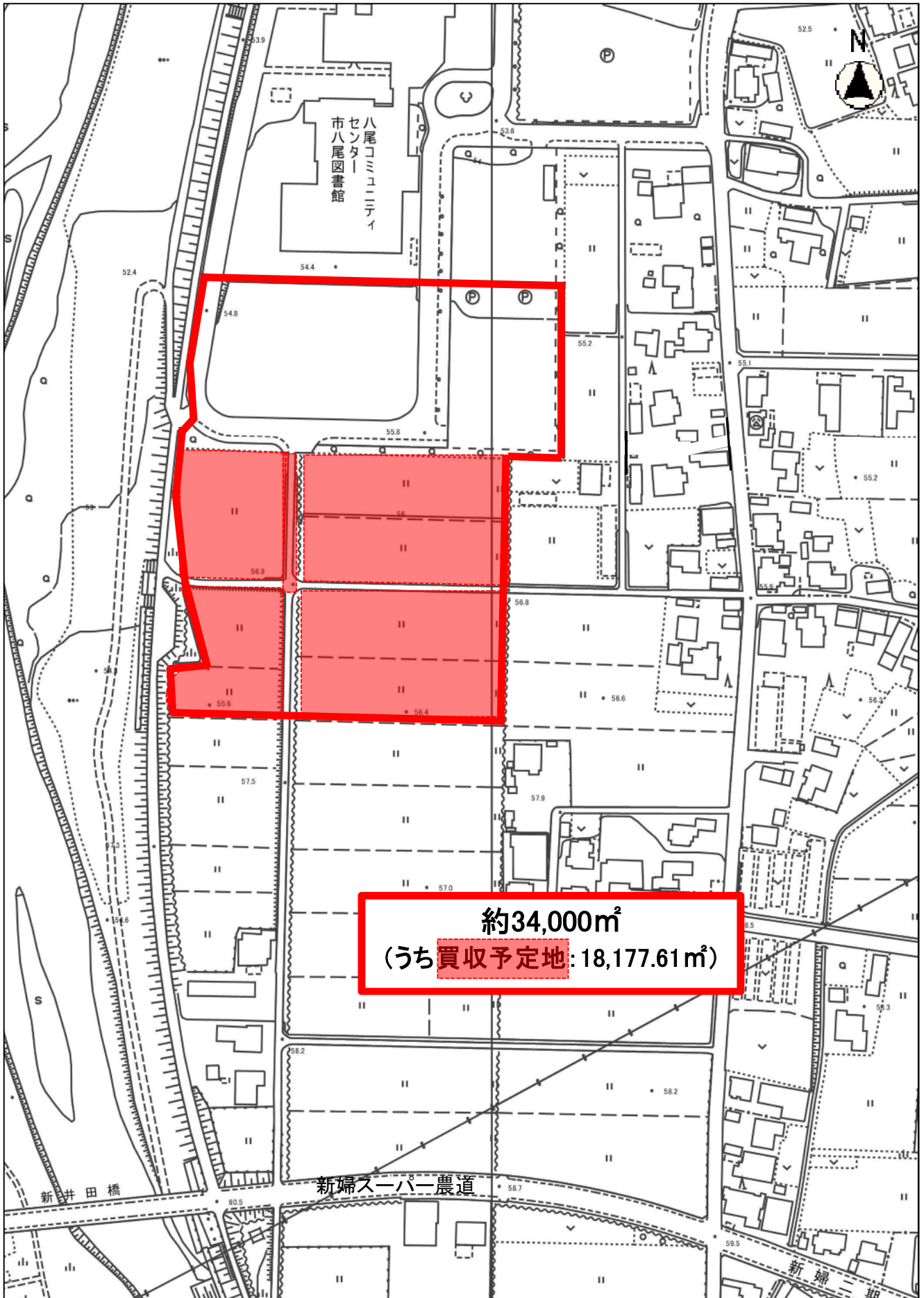
3 買収予定地

18,177.61m²

4 予算額

181,860千円

八尾地域統合中学校建設予定地



議案第24号

平成29年度 富山市立保内小学校 学校運営協議会委員名簿

No	氏名	所属・役職名
1	本多 哲三	保内地区自治振興会会長
2	亀山 正一	保内地区センター所長
3	村上 満	富山国際大学教授
4	池田 義史	保内地区民生委員児童委員協議会会長
5	谷内 和恵	主任児童委員・放課後児童クラブ指導員
6	老月 敏彦	主任児童委員
7	井澤 祐輝	交通安全協会保内支部長
8	花木 崇	保内安全見守り隊 隊長
9	杉林 聡美	しんでん保育園 園長
10	藤島 秀恵	リンデ幼稚園 園長
11	西島 佳織	P T A会長
12	小峠 拓也	P T A顧問
13	豊田 高久	富山市立保内小学校 校長

平成29年度 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)事業について

1 コミュニティ・スクール設置の趣旨

富山市では、開かれた学校づくりをさらに推進し、安定した学びの環境を確保し、地域・家庭・学校が一体となってよりよい教育の実現に向けて取り組む体制づくりを目指し、コミュニティ・スクールを設置している。

富山市立小・中学校では、従来から、学校評価や学校評議員制度等を通して、学校運営方針への理解を得ているが、学校評議員に代わり「学校運営協議会」を置き、協議会委員に、学校の現状や学校運営方針を説明し、承認を得ることとし、地域や保護者、学校で子どものために何ができるのかを共に考え、共に教育活動を推進していくことを目指す。

富山市の目指すコミュニティ・スクール

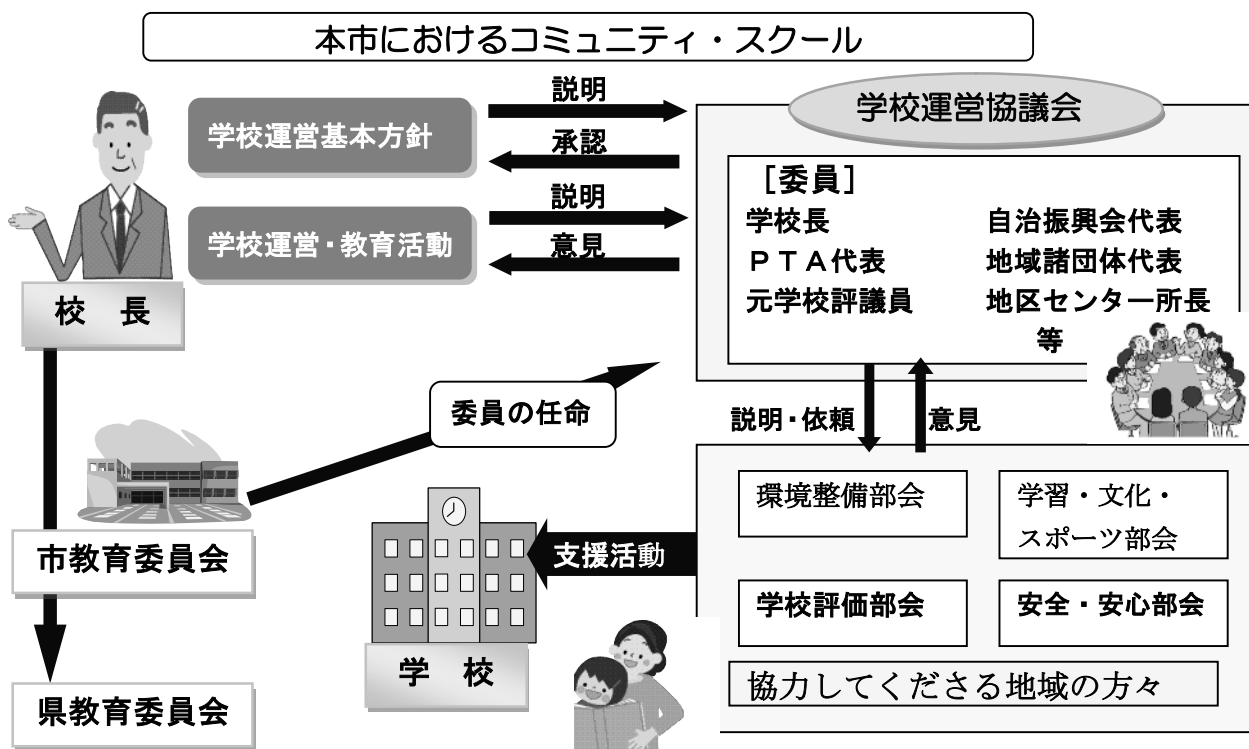
【学校と地域、保護者との連携を強化し、学校を活性化する】

- ・ 学校が学校運営協議会に対し、学校運営の基本的方針について説明し、承認を得たり、学校の課題に対する方策を共に考え活動したりすることで、学校と地域との協力体制を構築し、学校を活性化する。

【教育活動への支援により教育活動を充実する】

- ・ 学校運営協議会を通して地域の教育力を有効に生かし、学習支援等の具体的な支援を得て、学校教育の充実を図る。
- ・ 学校・家庭・地域が一体となって、互いの信頼関係を深め、子どもの健全育成や安全確保を図る取組を推進する。

(1) コミュニティ・スクールのイメージ図



(2) 学校運営協議会の組織

ア 組織（学校運営協議会）の概要

各学校で「学校運営協議会」を組織する。委員は富山市教育委員会が委嘱・任命する。

「学校運営協議会」は、地域の代表者、保護者代表、学校の運営に資する活動を行う者、校長で構成し、委員は15名以内とする。

「学校運営協議会」を置くにあたり、組織を新たに構成するのではなく、富山市が現在まで推進してきた学校評議員制度や地域諸団体の既存の組織を生かすようにし、組織づくりの負担を軽減する。

イ 学校運営協議会と学校（校長）の主な働き

① 活力ある学校づくりを推進するための取組

- ・ 校長は、学校運営の基本的な方針を学校運営協議会に説明し、承認を得る。
- ・ 学校運営協議会は、学校運営の基本的な方針について協議し、承認する。
- ・ 校長は、学校運営協議会に学校運営や教育活動について説明する。
- ・ 学校運営協議会は、地域の子どもにとってふさわしい学校運営や教育活動について意見を述べる。

② 学校の教育活動に地域教育力を有効に生かすための取組

- ・ 学校運営協議会のもとに、環境整備、学習・文化・スポーツ等の活動部会を置く。学校運営協議会を通じて、地域に学習支援や体験活動、校外活動を実施する際の協力、教室内外の環境整備や教材作成への連携・協力を依頼する。
- ・ 学校運営協議会は、学校の課題に対してどんなことができるのかを協議し、支援する。

2 実施計画案

(1) コミュニティ・スクール設置の継続と新規設置

平成25年度からコミュニティ・スクールモデル校であった呉羽小学校と堀川中学校については、平成27年度から正式にコミュニティ・スクールを設置している。また、平成29年度には、コミュニティ・スクールモデル校であった奥田北小学校、保内小学校に、新たにコミュニティ・スクールを設置する。

(2) コミュニティ・スクールモデル校の継続と新規設置

平成28年度からモデル校となった五福小学校と興南中学校に加え、平成29年度から藤ノ木小学校と藤ノ木中学校をモデル校とし、正式な導入の促進を図る。

(3) 事業の検証

年度末に、教育委員会がモデル校2校の学校運営協議会委員を招集し、コミュニティ・スクールの課題と成果を明らかにするとともに、市全体のコミュニティ・スクール推進の取り組みに生かすようにする。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
指 定 予 定	呉羽小 堀川中	正式設置				
	奥田北小 保内小	モデル校	正式設置			
		五福小 興南中	モデル校	正式設置		
			藤ノ木小 藤ノ木中	モデル校	正式設置	
				2校	モデル校	

富山市教育委員会告示第 号

富山市附属機関設置条例第2条第2項の規定による附属機関の設置
について

富山市附属機関設置条例（平成27年富山市条例第1号）第2条第2項
の規定に基づき、次のとおり附属機関を設置するので、同条第3項の規定
により告示する。

平成29年4月 日

富山市教育委員会

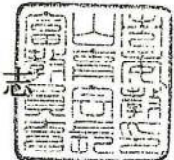
教育長 宮 口 克 志

名称	所掌事務	委員の定数	設置期間
富山市教科用図書採択協議会	富山市立小学校・中学校において使用する教科用図書の採択に関する事務	11人	平成29年4月24日から平成29年8月31日まで

教 総 第 4 号
平成29年4月1日

富山市教育委員会
委員 若林 啓介 様

富山市教育委員会
教育長 宮口 克志



教育長職務代理者の指名について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、
貴殿を教育長職務代理者に指名する。

『平成29年度富山市学校教育指導方針』について

【学校教育課】

1 作成の趣旨

- (1) 各学校（園）が、今年度の富山市学校教育の方針や重点等の共通理解を図るための指針とする。
- (2) 各学校（園）が、教育指導における課題や改善事項を共通理解し、各教科等の指導における指針とする。
- (3) 学習指導の基礎・基本となる指導技術を共通理解する際の参考とする。

2 作成の観点

(1) 教育指導の重点事項

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得
- 2 習得した知識・技能を活用した、思考力・判断力・表現力等の育成
- 3 学習の基盤を形成している言語に関する能力の育成
- 4 「確かな学力」の定着を図る規律ある学習態度の育成

(2) 教育指導の中核となる14項目

- ① 「学校（園）経営」では、自他の命を大切にす指導の充実を図る。
- ② 「学習指導」において、「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた問題解決的な学習の過程を通して、思考力・判断力・表現力をはぐくむ授業を充実する。
- ③ 「生徒指導」では、子どもの発するサインを見逃さないよう、日ごろから児童生徒理解を着実に進め、問題行動の早期発見に努めるとともに、一人一人に応じた指導方針を確立する。
- ④ 「健康・安全に関する指導」においては、「食物アレルギー対応マニュアル」を活用するとともに、家庭と連携し、個に応じたきめ細かな指導を行う。

(3) 各教科等の指導の課題と改善事項

- ① 各教科や領域における指導に当たっては、言語活動や体験的な活動の充実を目指し、関連資料を参考に具体的な活動をイメージし、日々の学習の指導計画を立てる。
- ② 道徳科では、道徳的な課題を一人一人の子どもが自分自身の問題としてとらえて、「考え、議論する道徳」の指導に努める。

(4) 今日的な課題への対応

- ① 「教職員の資質・能力の向上」、「校務の効率化」等、今日的な課題への対応について、全教職員で共通理解し、実践に努める。
- ② 「幼・小・中学校の連携」では、中学校区における連携を推進し、発達の段階に応じた効果的な指導を行い、子どもの連続的な学びと成長を保障する。

(5) 参考資料

「富山市教育振興基本計画」を基に、本市教育の一層の充実を図る。

ひきふた “惹く” “引く” 引札!!



引札は、現在の広告チラシにあたるもので、明治時代中～後期にかけてピークを迎えました。本展では、明治の引札を通じて、富山の商店が展開した広告活動を紹介します。

会 期 平成29年4月22日（土）～7月2日（日）

休 館 日 5月15日（月）

開館時間 9：00～17：00（入館は16:30まで）

会 場 富山市郷土博物館（富山城）

観 覧 料 大人210円 高校生以下は無料

展示解説会 5月7日（日）、6月18日（日）、7月2日（日） 各日 午後2時より





秋卉双鶏図 岸駒 江戸時代



蝦蟇鉄搦図象嵌箱(部分) 民野照親
江戸～明治時代



木影額 村上九郎作 江戸～明治時代 富山市郷土博物館蔵



富山市佐藤記念美術館

〒930-0081 富山市本丸1-33(富山城址公園内)
TEL (076) 432-9031 FAX (076) 432-9080

企画展

富山ゆかりの 絵画・工芸品

平成29年

4月29日(土) ↓ 6月11日(日)

会期中無休

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一人 210円

◇学芸員による展示解説会◇ ※要観覧料

5月13日(土)・6月10日(土) 午後2時～

富山にゆかりのある江戸時代から明治時代までに制作された絵画、漆工、木工、金工などを展示します。



杉田青貝細工 野路玉川図料紙箱 江戸時代
富山市郷土博物館蔵



杉田青貝細工 八角形食籠 江戸時代
富山市郷土博物館蔵